

まちづくり・交通への IT 活用講習会

日 時：2012 年 5 月 18 (金) 13:00～16:00

場 所：奈良商工会議所 大ホール (近鉄奈良駅 1 番出口より徒歩約 1 分)

費 用：無料

目 的：2012 年 11 月の「ITS^{*}セミナー in 奈良」に先立ち、奈良県内の行政関係者、交通関係者を対象に、まちづくり・交通への IT 技術の活用等に関する講習会を開催する。

対 象：県・市町村職員、交通事業者等 (100 名程度)

主 催：東京大学生産技術研究所先進モビリティ研究センター (ITS センター)、奈良県

後 援：国土交通省近畿地方整備局

司会進行：田中敏久 (東京大学生産技術研究所先進モビリティ研究センター 客員教授)

あいさつ (13:00～13:10)

- ① 須田義大 (東京大学生産技術研究所先進モビリティ研究センター長・教授)
- ② 大庭孝之 (奈良県土木部長)

講演 (13:10～16:00)

- ① 「最近の ITS の技術動向」 (13:10～13:45)
須田義大 (東京大学生産技術研究所先進モビリティ研究センター長・教授)
- ② 「交通マネジメントにおける Data Driven^{*}アプローチ」 (13:45～14:20)
桑原雅夫 (東北大学大学院情報科学研究科 教授・東京大学生産技術研究所 兼任教授)
- ③ (仮) 「奈良市中心市街地における交通対策への適用」 (14:20～14:40)
奈良県土木部道路・交通環境課長

休憩 (14:40～14:50)

- ④ 「MR 技術^{*}の動向」 (14:50～15:25)
池内克史 (東京大学大学院情報学環・生産技術研究所先進モビリティ研究センター 教授)
- ⑤ 「社会生活の核となる情報統合の価値」 (15:25～16:00)
大口敬 (東京大学生産技術研究所先進モビリティ研究センター 教授)

^{*}ITS (Intelligent Transport Systems: 高度道路交通システム) = 道路交通の安全性、輸送効率、快適性の向上等を目的に、最先端の情報通信技術等を用いて、人と道路と車両とを一体のシステムとして構築する新しい道路交通システムの総称

^{*}Data Driven = 現実世界の観測データそのもののパターンや法則性を用いた解析手法

^{*}MR (Mixed Reality: 複合現実感) 技術 = 現実世界と仮想世界をリアルタイムに、シームレスに融合させる技術